

雄勝地区

11月1日(日)～3日(火・祝)、雄勝公民館で、第3回石巻市合同文化祭、第33回おがつ文化祭が行われました。

1日(日)には、合同文化祭にちなみ「もちつき大会!!」が行われ、来場者は、今では珍しい「杵」や「うす」に触れ、つきたてのおもちをおいしく口に食へていました。また、陶芸体験は、日間行われました。

館内には、雄勝文化協会、市内各地区の文化協会会員の作品や、一般の方の作品が展示され、文化の花は満開となり、来場者を楽しませてくれました。



「文化の花が咲きました!」

河北地区



大きな鮭 捕ったどお〜!

10月31日(土)～11月3日(火・祝)、11月7日(土)、ラエステイバル・イン・カほく2009「ガメディアアシップステージ、ビッグ」を会場に行われました。

1日(日)に行われた産業まつりでは、もうすっかりおなじみ「鮭のつかみどり大会」のほか、長面カキの試食「コーナー」や山形県河北町特産のラ・フランスの販売など大好評でした。

また、文化祭は、今年で最後となる飯野川高等学校と合同で開催され、芸能音楽祭では各文化団体によるステージ披露のほか、書道や写真などの作品展が行われ、かほくの芸術と文化を満喫しました。

桃生地区

10月13日(火)、桃生中学校創立40周年記念ならびに桃生町地域ぐるみ青少年健全育成推進大会の講演会が、桃生中学校父母教師会・桃生町地域ぐるみ青少年健全育成協議会共催で桃生公民館文化ホールを会場に行われました。

当日は、夜回り先生で有名な、水谷修氏を講師として招き、昼間は中学生を対象に「いま、子どもたちは…」私たちにできること、しなければならぬこと」を演題として行われ、約300人の来場者がありました。



夜回り先生 講演会

河南地区



かなん市民まつり

10月31日(土)、遊楽館で「第19回かなん市民まつり」が行われました。

新鮮野菜や特産品の直売、新米おにぎりやつぎたてもちの販売「コーナー」には長蛇の列ができ、おいしい実りの秋を体感。恒例の旭山ウォーキングでは、県内各地から参加した約150人の老若男女が、色づいた里山を巡りスポーツの秋を体感。

屋内では、郷土民俗芸能や吹奏楽舞踊などのステージ発表や、趣味の作品展示があり、素晴らしい芸術の秋を体感。

秋の深まりを感じさせる空の下、1万2000人の来場者はそれぞれの秋を満喫していました。



このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

牡鹿地区

11月1日(日)、宮城県農業公社牡鹿牧場において、「牡鹿牧場まつり」が行われました。

これは、宮城県農業公社が牡鹿牧場で飼育した安全・安心な牛肉を、お手頃な価格で提供し、地域との交流を図るために毎年行われているものです。

この日も、「牡鹿ヘルシービーフ」の試食、格安販売をはじめ、地元カキ生産業者によるカキの無料試食やお楽しみ抽選会などが行われるとあって大勢の買い物客でにぎわいました。

訪れた買い物客は、安全、安心で格安の牛肉をたくさん買い求めていました。夕食には、おいしい牛肉が並んだテーブルが並びました。



「牧場まつり」にぎわいました!

北上地区



にっこりまつり大盛況!

10月31日(土)、にっこりサンパークを会場に「にっこりまつり」が行われました。

「にっこりまつり」も、今回で12回目となり、地元の方々は、すっかり定着したようです。恒例のもちまきでは来賓の方などが、たくさん用意された紅白のもちまきをまきました。かわいらしい園児たちの遊戯もたいへん盛り上がりしました。そして、地場産品など豪華景品(肉・海産物・鉢植え)が当たるお楽しみ抽選会では、来場者が次々と当選し、緊張感と歓声に包まれました。

この日は肌寒い一日でしたが、来場者は、盛りだくさんの内容とおいしいバーベキューで、北上の秋を満喫していました。

石巻地区

11月3日(火・祝)、文化センターでは開催中の『特別展 毛利コレクション』 旅たび TRAVEL』をテーマに、「文化の日 フェスティバル」が行われ、大勢の家族連れでにぎわいました。

冬の到来を思わせる寒空でしたが、一杯100円で販売され大好評だったスタッフ特製の郷土料理おくずかけや、子ども達の人気者「いしひょうたん」のジャンケン大会などでイベント会場は寒さを感じさせない熱気に包まれていました。

また、館内では、なつかしい昭和の給食「が100食限定500円で販売され、短時間のうちに完売する人気ぶりです。当時の味を懐かしみながら、古き良き時代にタイムスリップしたひとときをかみそめています。



時代を超えて楽しく過ごしました!

カキの豊漁願いの獅子風流



10月30日(金)、東浜小学校の全校児童が学区内の牧浜、竹浜、狐崎浜、鹿立、福貴浦の5カ所のカキ処理場で、地区民の健康とカキの豊漁を願って「獅子風流地区回り」を行いました。

この取り組みは、平成2年に地域の方々から獅子頭と太鼓などの道具をそろえてもらい、その感謝の気持ちを表すために地区回りが始まり、今回で20回目を迎えました。

獅子を担当する男の子は「みんなで力を合わせて演技したあと、大きな拍手をもらうととてもうれしい」と話していました。